

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		水防対策			20年度予算コード	3	整理番号	472	枝番号
担当部課名	都市整備部建設課		コード	221001	昨年度 整理番号	562,563,564			
係名	計画調整係		連絡先 電話番号	3422					
上位施策名		No	10		水害対策の推進				
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区域全体(水害発生の恐れのある区域)の区民の生命及び財産				根拠法令等 (1) 水防法第3条(市町村の水防責任) (2) 東京都水防条例東京都水防計画 (3) 杉並区地域防災計画			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)	・雨量、水位の観測装置等の維持管理 ・台風・集中豪雨などの気象情報収集 ・水害時の土のう手配、ポンプ排水などの水防活動				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 台風・集中豪雨の正確な情報を速やかに収集・把握し、迅速かつ的確な水防活動を行うことにより、浸水の未然防止を図り被害を最小限にする。			
	活動指標名(式)	(1) 緊急水防作業委託回数 (2) 雨量・水位観測装置の保守点検回数				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 土のう積み回数 (2) 雨水・水位観測装置や気象情報を活用した水防体勢の回数			
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
	活動指標(1)	回	5		7				
	活動指標(2)	回	0	2	2	2	2	100.0	
	成果指標(1)	個	1,057		9,975				
成果指標(2)	回	8		9					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	309,022	54,671	39,574	36,317	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円	271,073	16,150	3,080	67			
	(内)委託費	千円	298,720	7,392	24,291	24,971			
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.40	1.10	1.16	1.10	活動指標(2)の平成18年度実績「0」については、当該年度に観測装置の改修を行った為、保守点検については行っていないことによる。 活動指標(1)、成果指標(1)・(2)については、水害発生時の対策であり、計画・目標値ともに設置できない。 コストについても水害規模により異なる。		
	人件費	千円	21,744	10,054	10,602	10,054			
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0			
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 ++	千円	330,766	64,725	50,176	46,371			
	単位あたりコスト(-)÷	円	11,938,600		6,728,000				
	財源	千円							
受益者負担分	千円								
国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +	千円	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	330,766	64,725	50,176	46,371				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)				
	水防基地設置				17,552				
	水防情報システム維持管理				12,887				
	緊急水防作業委託				6,603				
	維持管理経費				1,574				
	その他 ()				958				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 472 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%		活動指標(2)の 19年度達成率%	100.0	19年度予算 執行率%	72.4
		水害対策時の事業であり、計画設定できない。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		自分の生命と財産は自分で守るという意識を高めるため、広報紙による啓発を行った。水防情報システムが良好に作動できるよう保守点検を行った。水防演習に多くの職員が参加できるように参加職員をローテーション化した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	近年は集中豪雨による被害が多く、河川沿いの地域外でも水害が起こるようになった。被害件数 S60 300件、元年 453件、H5 284件、H11 180件、H12 3件、H13 47件、H14 7件、H15 39件、H16 54件、H17 1898件、H18 6件、H19 16件					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	水害時に、土の手配、ポンプの設置等の対応を迅速に行ってほしいとの要望がある。					
	今後の予測	環状7号線地下調節池、和田弥生下水道幹線が完成したので、環状7号線から下流の水害は軽減される。他の地域については河川改修等を進めているが、早期の危険度はあまり変わらない。下水道の設計計画量を上回る短時間の集中豪雨による被害が予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 被害軽減のための迅速な水防活動を行うためには、正確な雨量・水位の観測地、制度の高い気象情報が必要であり、集中豪雨による地下浸水などの被害軽減のために、土のう積み・ポンプ排水は不可欠である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容： 既に経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。 理由または具体的内容：					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 受益者負担の考え方はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容： 雨量・水位観測システムの良好な状態を保持するには、一定規模のメンテナンスコストがかかる。これまでに経費の削減をしてきており、これ以上は難しい。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方：	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 現状を維持する。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 集中豪雨時には、土のう要請が区に一斉集中するため、水防配備体勢の限られた人数では迅速な対応は難しい。よって、出水時期に備え、区の広報紙、ホームページに「土のう貸し出し」のお知らせを掲載し、区民の防災意識の高揚を図り、地下施設を有する建物を建築する場合には、浸水や内水に強い建築計画を行うよう指導して行く。また、雨量・水位観測装置など区の水防情報システムが良好に作動できるよう保守点検を行う。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	既に経費の削減を行っており、これ以上の削減が難しい。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	雨水流出抑制対策等工事助成 <small>20年度予算コード</small>	004	整理番号	473	枝番号
-----------	----------------------------------------	-----	------	-----	-----

担当部課名	都市整備部建設課	コード	221001	昨年度 整理番号	565
係名	計画調整係	連絡先 電話番号	3422		

上位施策名	No	10	水害対策の推進
-------	----	----	---------

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	6年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 I 政策番号 (4) 施策番号 ② 事業コード 4 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 敷地面積が1,000㎡未満で個人所有の住宅	(1) 杉並区雨水流出抑制対策推進要綱(昭和58年6月) (2) 杉並区雨水流出抑制施設設置指導要綱(平成6年3月) (3) 杉並区雨水浸透施設設置助成金交付要綱(平成6年3月)	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	総合治水対策・雨水循環による自然環境保全に効果的な雨水流出抑制対策の推進を図るため、雨水浸透枳等の設置者に対して40万円を限度に工事費の一部を助成する。	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	① 浸水被害を軽減する。 ② 地下水と湧水の涵養と緑勢の回復
	活動指標名(式)	(1) 助成件数 (2) 助成金額	成果指標名(式) ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標	(1) 助成により設置された雨水浸透施設の浸透量(単年度) (2) 助成により設置された雨水浸透施設の浸透量(平成6年度からの累計)

区分	単位	18年度		19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%	
		実績	計画	実績	計画				
指標	活動指標(1)	① 件	47	100	102	100	100	102.0	
	活動指標(2)	② 千円	14,540	30,000	26,311	30,000	30,000	87.7	
	成果指標(1)	③ m³/h	355	550	553	550	550	100.5	
	成果指標(2)	④ m³/h	4,292	4,842	4,845	5,395	6,495	74.6	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	15,076	30,586	26,894	42,331	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	⑥ 千円	14,540	30,000	26,311	42,000			
	(内) 委託費	⑦ 千円							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.86	1.10	1.16	1.10			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	⑨ 千円	7,792	10,054	10,602			10,054
		非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0			0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	22,868	40,640	37,496	52,385			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	177,191	106,400	109,657	103,850			
	財源	受益者負担分	⑬ 千円						
		国・都等からの支出金	⑭ 千円						
特定財源計⑬+⑭		⑮ 千円	0	0	0	0			
差引: 一般財源⑪-⑮		⑯ 千円	22,868	40,640	37,496	52,385			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑰ %	0.0	0.0	0.0	0.0				

19年度の主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
	雨水流出抑制対策工事助成			26,311
	雨水流出抑制対策印刷費			583
	その他 ()			0

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 473 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	102.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	87.7	19年度予算 執行率%	87.9
		助成件数は当初の目標値を達成した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		19年度から、区が助成できる件数を50件から100件に拡充し、対象となる敷地面積を300㎡から100㎡に下げ、助成金の対象者の増加を図ったことにより、申請者も倍増した。20年度から雨水浸透施設設置の他に、新規事業として、高床化工事・防水板設置工事に関わる工事費の助成を開始する為、予算の増額をしている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並区の雨水流出抑制目標対策量、472,000㎡(神田川・目黒川水系) 杉並区雨水流出対策推進要綱並びに抑制施設設置指導要綱による達成数量、199,600㎡ 雨水浸透施設設置工事助成による達成数量、4,845㎡(上記達成数量に含まれる)					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	助成金の単価を、増額をして欲しい。 対象となる敷地面積が100㎡以上となったが、助成金の規格に該当する浸透施設が、スペース的に設置出来ない。					
	今後の予測	近年、気象の変化等により日本各地で大雨による浸水被害が発生している。 都市部においても、ヒートアイランド化などにより、集中豪雨が頻発しており、浸水被害が発生する危険性が增大している。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 雨水の下水管への流入量を浸透施設の設置によって減らすことにより、浸水被害を軽減する。また、地下水の涵養や緑勢の回復に役立っている。					
	(2) ①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 本事業の目的である区内全体の対策数量を変更することなく、個々の建築設計に適応した対策の推進を図ることにより、対象者の協力が得やすくなる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 本事業の受益者は助成対象者だけではなく、主に水害の恐れがある不特定多数の区民である。また、助成金受領者は浸透施設設置工事費の超過分を負担している。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 40万円を上限として浸透施設設置工事費の一部を助成しているが、施主は超過分を負担しているため、コストを下げる余地は無い。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 水害の軽減や自然環境の保全など、区民の安全と生活環境の向上は行政の責務であるが、企業・個人事業者の協力がなくては到底なし得ない。そこで、現在進めている助成制度を今後も活用しながら、雨水流出抑制対策の推進に努める。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 現在、進めている雨水流出の抑制対策は、浸透施設(浸透樹・浸透トレンチ管)を主体に助成制度を活用しながら推進を図っている。その中で区民の方々は、抑制対策について一定の理解を示すが、いざ自分の敷地への設置となると、費用対効果が見えにくいため消極的になってしまう。そこで、設置費用負担の軽減化や雨水対策を身近なものと感じられる雨水の再利用方法などの研究・導入を目指し、区民の雨水対策への理解と協力をより一層深める。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 雨水対策で効果を挙げるには、浸透施設に貯留施設を併用するのが理想的であるが、施主の負担が増え助成額を増やす必要がある。 また、狭小住宅向きの浸透施設の設置方法の検討および普及を推進していく必要がある。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 民間施設における雨水流出抑制対策を推進していくためには、区民及び事業者の雨水対策についての理解と協力が重要である。そのためには、雨水流出抑制対策の必要性について、積極的にPRを行うことである。そこで、従来から行われているPR方法を検討し、必要に応じ新たな工夫を行い積極的な呼びかけを行う。	